

【2023年度】事業所向けサービス自己評価表(放課後等デイサービス)

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		安全を確保する為、適切な定員数を守って日々の活動を行っている。利用定員やスペースも適切に出来ている。	
	2 職員の配置数は適切である	○		適切である。児童により肢体不自由や重心心身障がい児童もいる為多めには配置を心掛けている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		事業所のバリアフリーの点では、トイレに手摺りを付け、玄関の所にはスロープをその都度付けれるようにしている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		事前の打ち合わせ、実施後の振り返りを全体でおこなっている。反省点や改善点を、次の業務に活かすことができている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		事業所単位で取り組める事柄には、真摯に向き合い、改善につなげている。	会社として取り組まねばならないことは、全体として会議を重ね、改善したり、新しい取り組みを始めたりしている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		法人のホームページにて公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者からの外部評価を受けていないと思われる。他事業所からヘルプのスタッフが来た際に、第三者目線で意見をもらうようにしている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修や外部講師をお呼びしての研修等が定期的に行われている。その都度研修内容を事業所内にフィードバックを行っている。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		懇談や日々の送迎の際に、保護者及び児童のニーズや課題を拾っている。それをふまえたうえで、自事業所で行える支援を練り、計画を作成している。	
適切な支援の提供	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		発達検査等の検査結果を共有してもらっている。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		チームで意見を出し合っている。その都度話し合いの場を設けて、活動の取り組みの動き方の確認を行っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		SNS等で常に情報収集をおこない、日々の活動に取り入れることで、固定化を防いでいる。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		活動時間の長さや、その時の企画に応じてそれぞれの課題を設定するようにしている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		その児童の特性や発達段階に応じたサービス計画を作成している。その都度保護者様とのモニタリングを行い計画を作成している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		当日までに綿密な打ち合わせをし、当日には最終チェックを行う。様々な状況を想定してスケジュール等を立てている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		必ず終礼を行い、その日の振り返り、保護者からの連絡等を共有している。振り返りだけでなく、今後の方向性を決め、事業所全体で取り組めるようにしている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		来所時、おやつ、排泄時など項目ごとに分けて記録をとっている。他のスタッフの記録を確認することで、支援の改善・統一を図っている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行い、保護者様のニーズを取り入れて計画内容を継続するのか、新たな課題を設定するのかを判断している。	
関係機関や保護者との連携	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		デイサービスガイドラインに総則の基本的活動に組み合わせ支援を行っている。	
	20 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者等の役職に関わらず、参加するにふさわしいスタッフが出席するような体制を取っている。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		年間計画や行事予定に関しては、学校からのお便りにて情報を取得している。その他、確認事項がある際には、お迎え時や電話連絡にて共有を行っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		看護師を配備し、病院から保護者から事業所へと連絡を頂き整えている。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		その都度保護者様との話し合いを行い児童の情報の理解共有を行い相互理解を行っている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		相談支援員と話し合いを行い情報を提供している。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25	○		その都度児童発達支援センターや発達障害者センター等の研修には積極的に参加している。	
	26	○		地域の公園で活動をする際に、障がいのない児童との関わりを持つ場面がある。それらの機会を大切にしている。	
	27	○		(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	
	28	○		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	
	29		○	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	スタッフが、ペアレント・トレーニング等の技法を習得できていない為、それらの知識や技術を深める必要がある。
保護者への説明責任等	30	○		運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	
	31	○		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	まずは聞き取りに徹し、助言を求められた場合のみ自身の経験をふまえた助言をしている。その場での返答が難しい内容の場合は、一度持ち帰り、チームで検討している。
	32	○		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	行事の中で保護者参加型にして保護者様も参加出来るような形を取り連携を取れるようにしている。
	33	○		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	異動等の配置換えがあったタイミングで、保護者への周知を行っている。苦情があった際にはすぐに対応し、真摯に向き合っている。
	34	○		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	季節ごとにお便りを配布している。活動の様子やスタッフ紹介など、視覚的にも楽しめるものを作成。連絡体制等の情報も記載している。
	35	○		個人情報に十分注意している	取り扱いには十分注意をしている。定期的にスタッフ間での注意喚起を行っている。事業所では鍵付きの書庫に保管する等注意をしている。
36	○		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	それぞれに合わせた伝達方法で、意志の疎通を図るようにしている。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
非常時等の対応	37		○	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	コロナが収まっているので、交流を増やしていきたいと思います。
	38	○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	マニュアルを作成しており、訓練も随時行っている。
	39	○		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	活動など随時行い、その都度やり方を変えて訓練を行っている。
	40	○		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	研修の機会を設けその都度職員間でも研修のような例が起きていないか、その都度振り返りを行っている。
	41	○		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	保護者説明を行い同意を得たうえで、やむを得ない身体拘束を行った場合には記録をしている。
	42	○		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	指示書がある場合はその対応をしている。家庭での対処方法を聞き、保護者情報交換をしながら行っている。
43	○		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	終礼の時に話し合い、ヒヤリハットだと思われる事象に対して記入している。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。